

製品名: FN3K ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11052**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	FN3K
別名	
遺伝子 ID	64122.0
SwissProt ID	Q9H479
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 130~210

背景

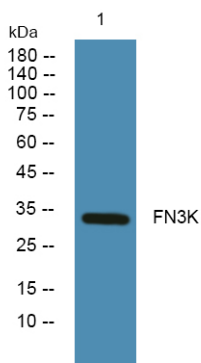
高濃度のグルコースは、グルコースとリジン残基の反応（糖化）によってタンパク質の非酵素的酸化を引き起こす可能性があります。このように修飾されたタンパク質（フルクトサミン）は、活性または機能が低下します。この遺伝子は、脱糖化をもたらす可能

性のあるフルクトサミンのリン酸化を触媒する酵素をコードしています。[RefSeq 提供、2012年2月],機能: フルクトースリジンおよび糖化タンパク質の脱糖化につながるプロセスを開始する可能性があります。1-デオキシ-1-モルフォリノフルクトース (DMF)、フルクトースリジン、フルクトースグリシン、フルクトース、および糖化リゾチームのリン酸化に関与する可能性があります。類似性: フルクトサミンキナーゼファミリーに属します。サブユニット: モノマー。組織特異性: 赤血球で発現します。,

研究分野

-

画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、FN3K ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩